第2章　事業の目的及び概要

2.1　事業の目的

・流水の正常な機能の維持(異常渇水時の緊急水の補給)

　木曽川水系の異常渇水時において、徳山ダムに確保される流水の正常な機能の維持（異常渇水時の緊急水の補給）を図るための容量のうち、4,000万㎥の水を一部は長良川を経由して木曽川に導水し、木曽成戸地点において河川環境の改善のための流量を確保するものとします。

・水道用水及び工業用水の供給

　徳山ダムに確保される愛知県の水道用水として最大2.3㎥/s、名古屋市の水道用水として最大1.0㎥/s及び名古屋市の工業用水として最大0.7㎥/sを導水し、木曽川において取水できるようにします。

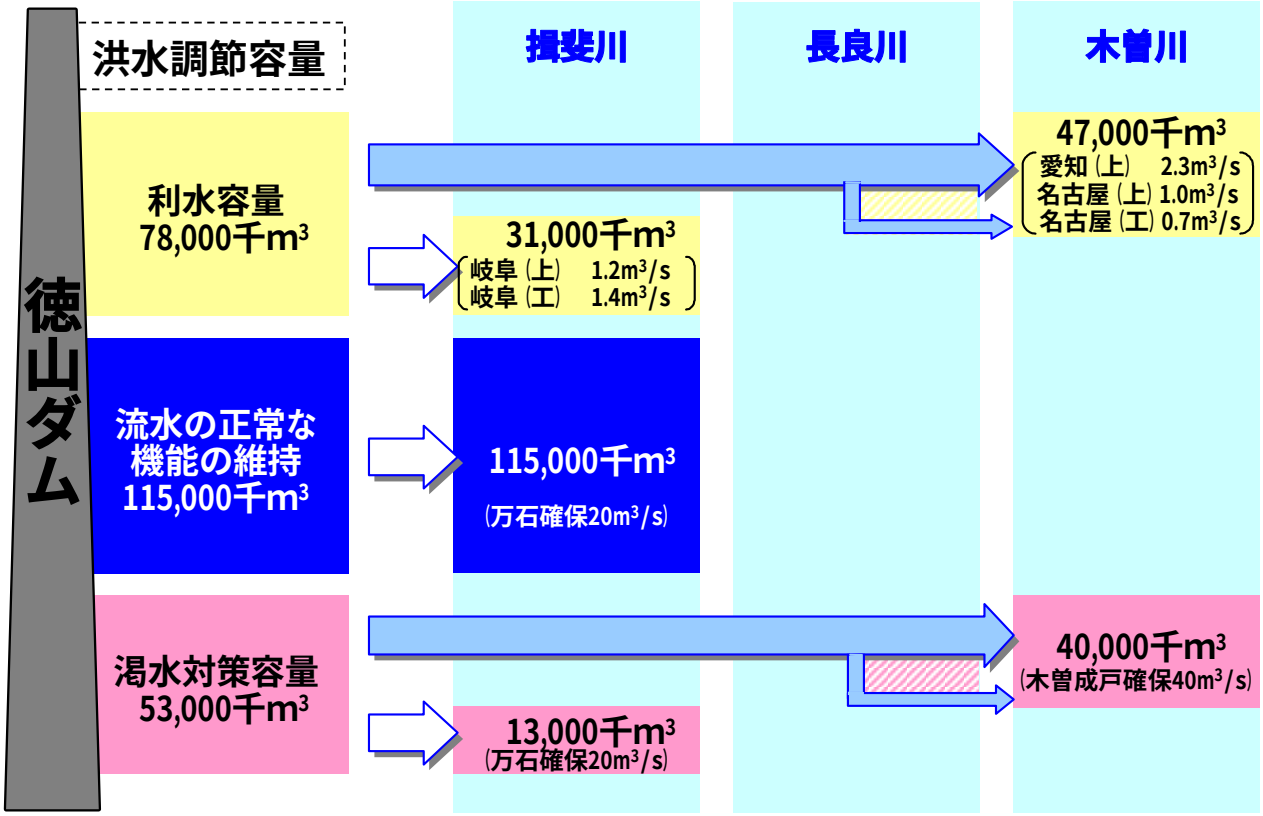


図2-1　徳山ダムの容量と連絡導水路の関係

2.2　事業の概要

木曽川水系連絡導水路は上流施設と下流施設とで構成します。

(上流施設)　地形・地質上の制約、経済性、河川流況改善区間延長及び利水供給可能区域等から、揖斐川西平ダム付近から木曽川坂祝地区に導水することを基本とします。

(下流施設)　長良川中流部への維持流量の供給及び事業費の軽減を図るため木曽川への導水の一部を長良川を経由するものとし、下流施設により長良川から木曽川へ導水します。

・工　期：　平成27年度(予定)

・事業費：　約890億円

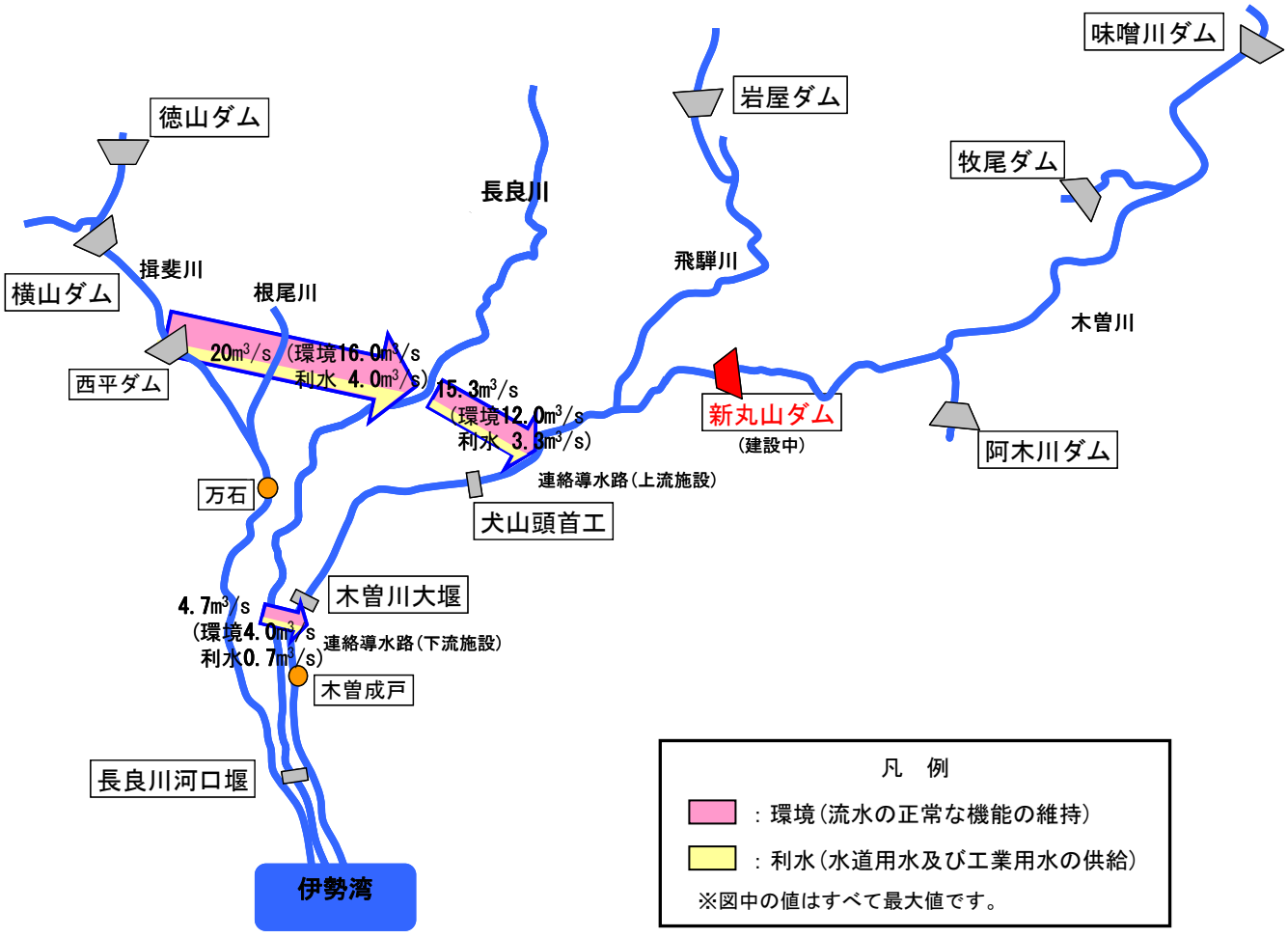


図2-2　事業の概要

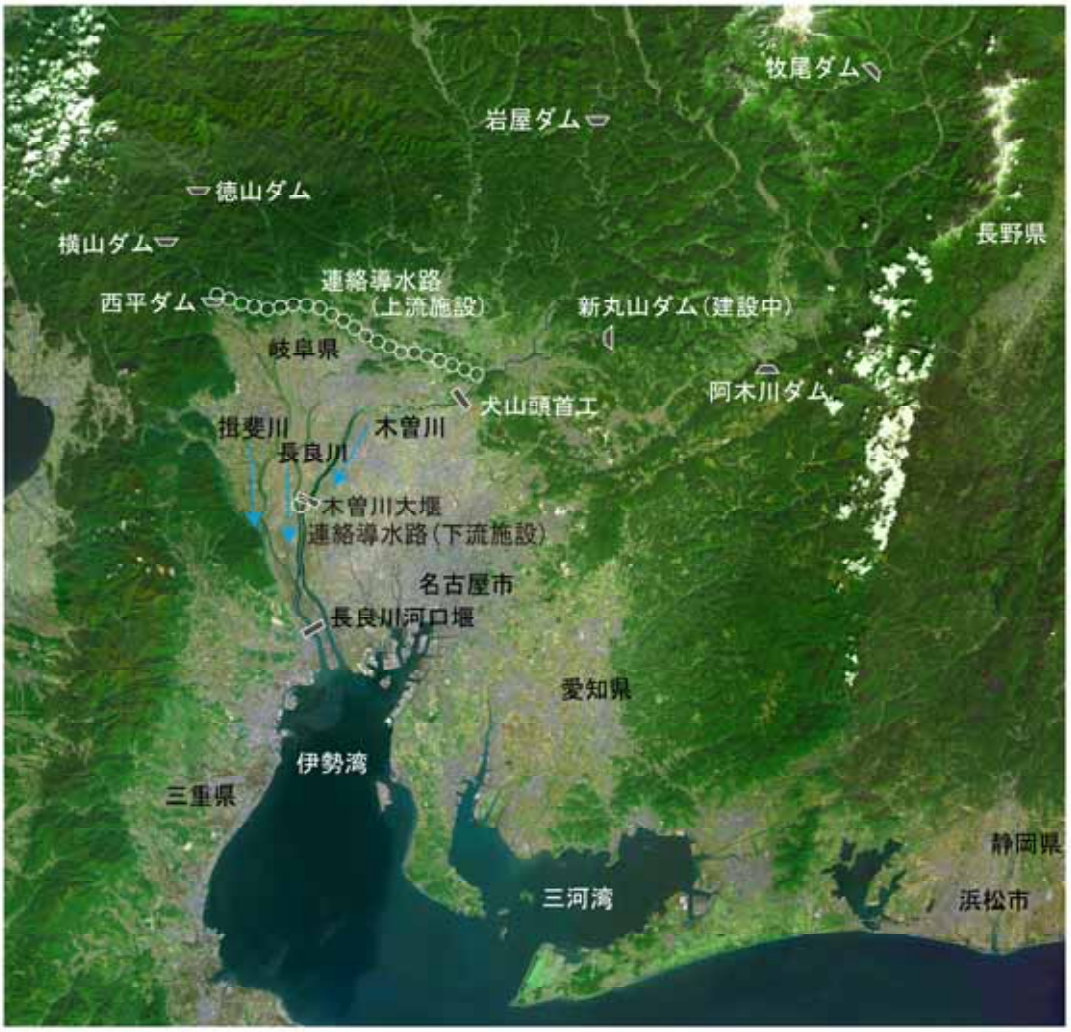
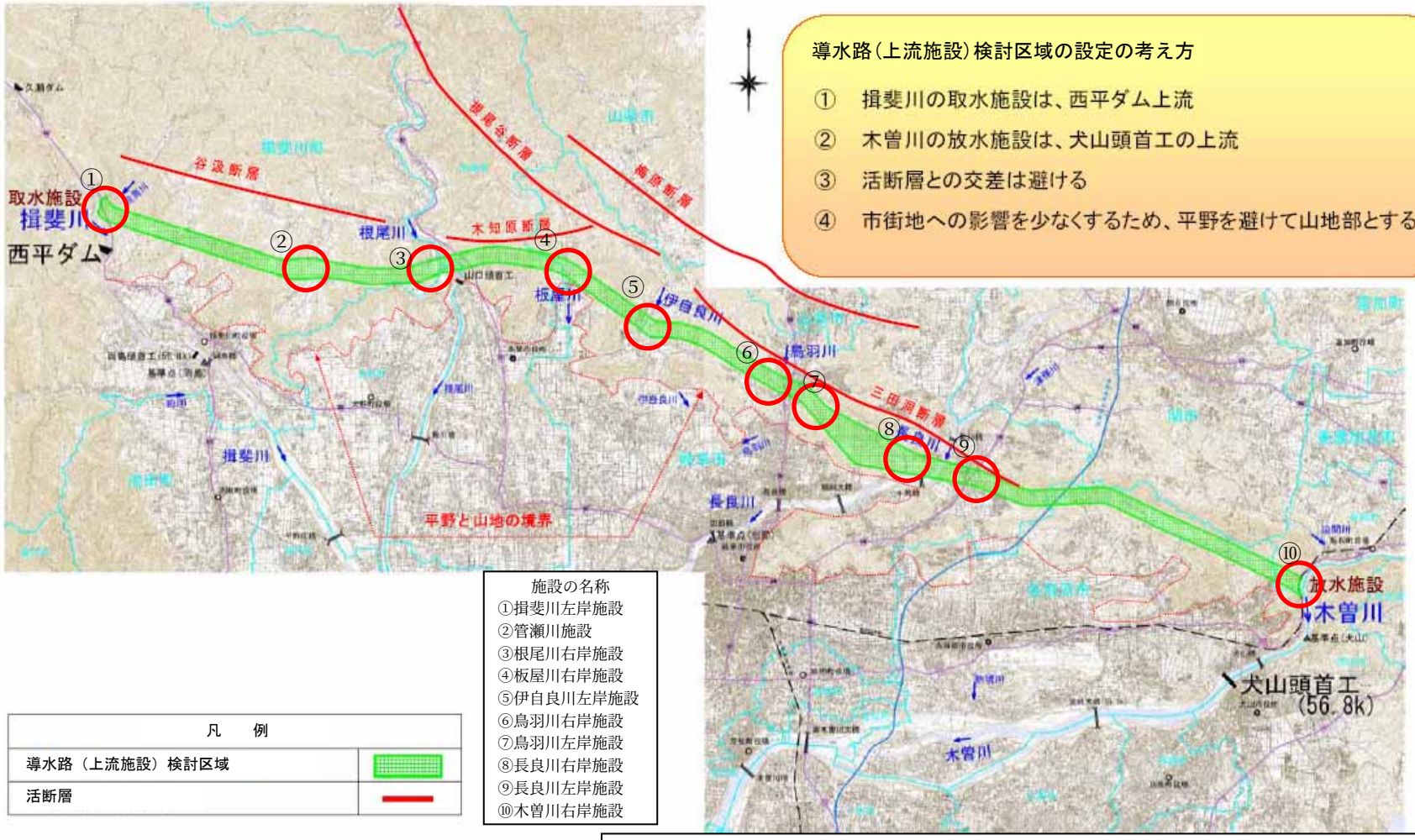
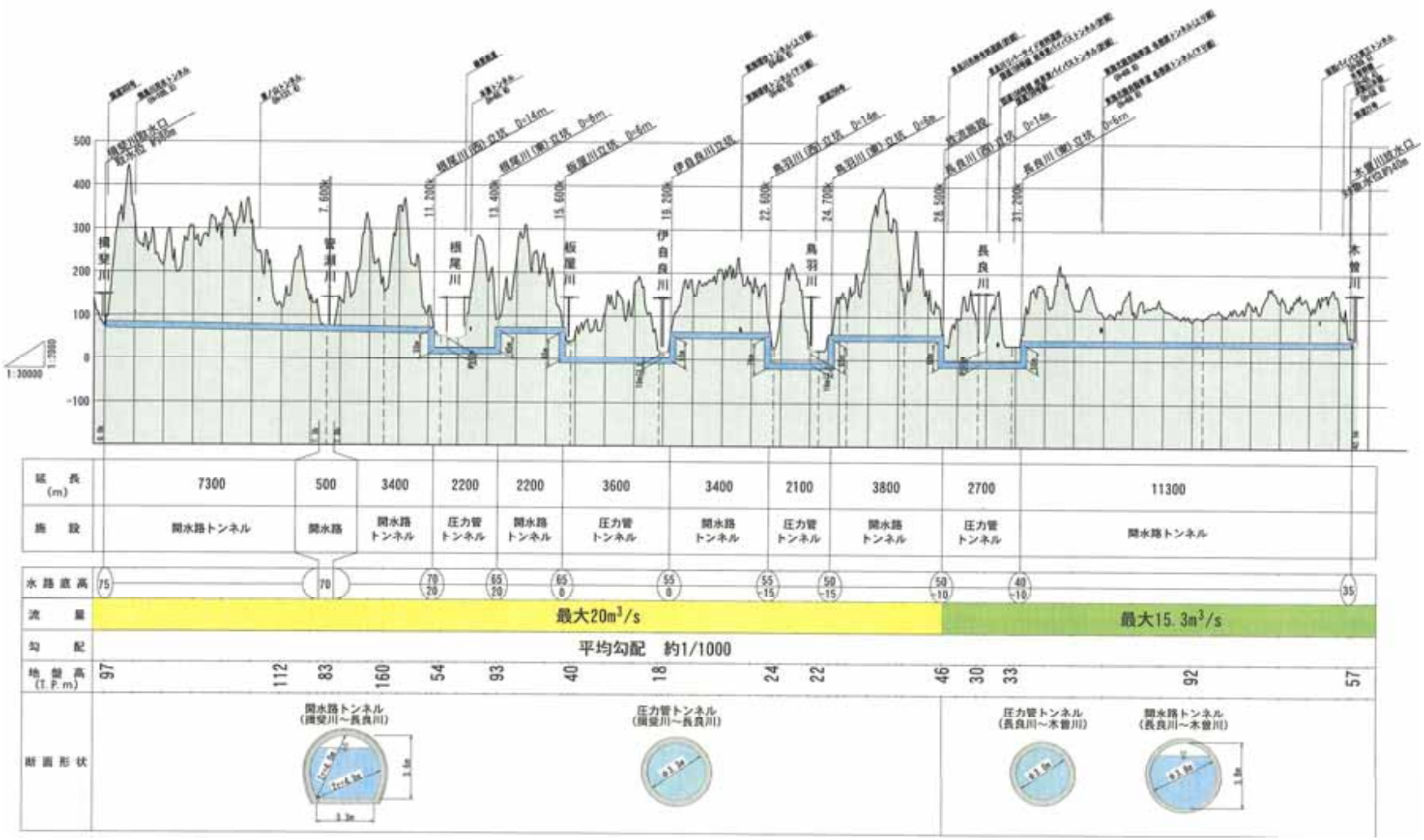


図2-3　木曽川水系連絡導水路　位置図



※　導水路(上流施設)検討区域は、これまでの調査・検討をもとに導水路(上流施設)の設置区域を概略で設定したものであり、今後の調査・検討により変わることがあります。

図 2-4　導水路(上流施設)検討区域



※導水路トンネルについては、揖斐川から長良川の区間は概ねNATM工法、長良川から木曽川の区間は概ねシールド型TBM工法を想定して検討しています。

※この縦断図は概要図であり、今後の調査・検討により変わることがあります。

図2-5　導水路(上流施設)　縦断計画(案)概要図

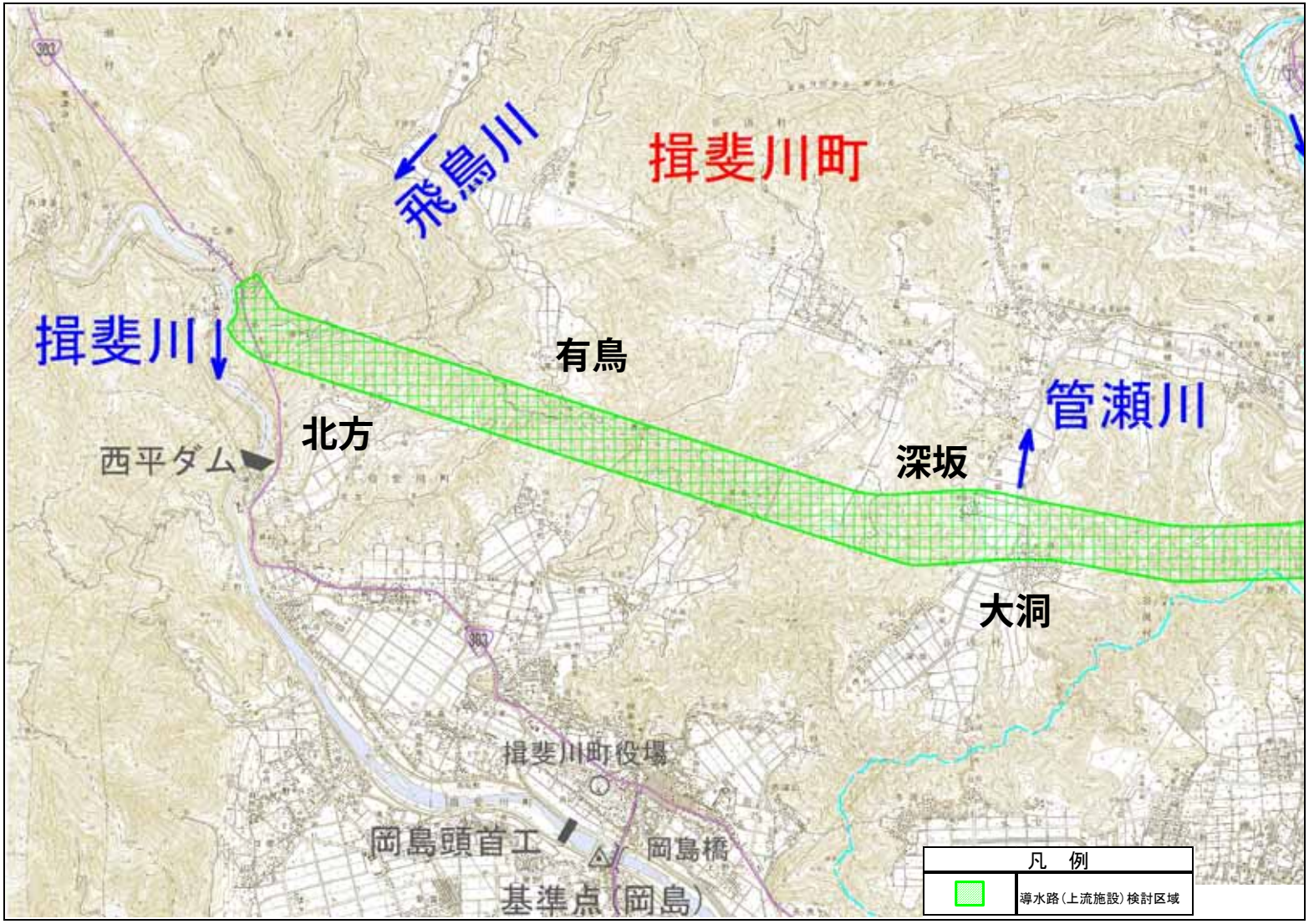


図 2-6　導水路(上流施設)検討区域(1/5)(揖斐川町周辺)

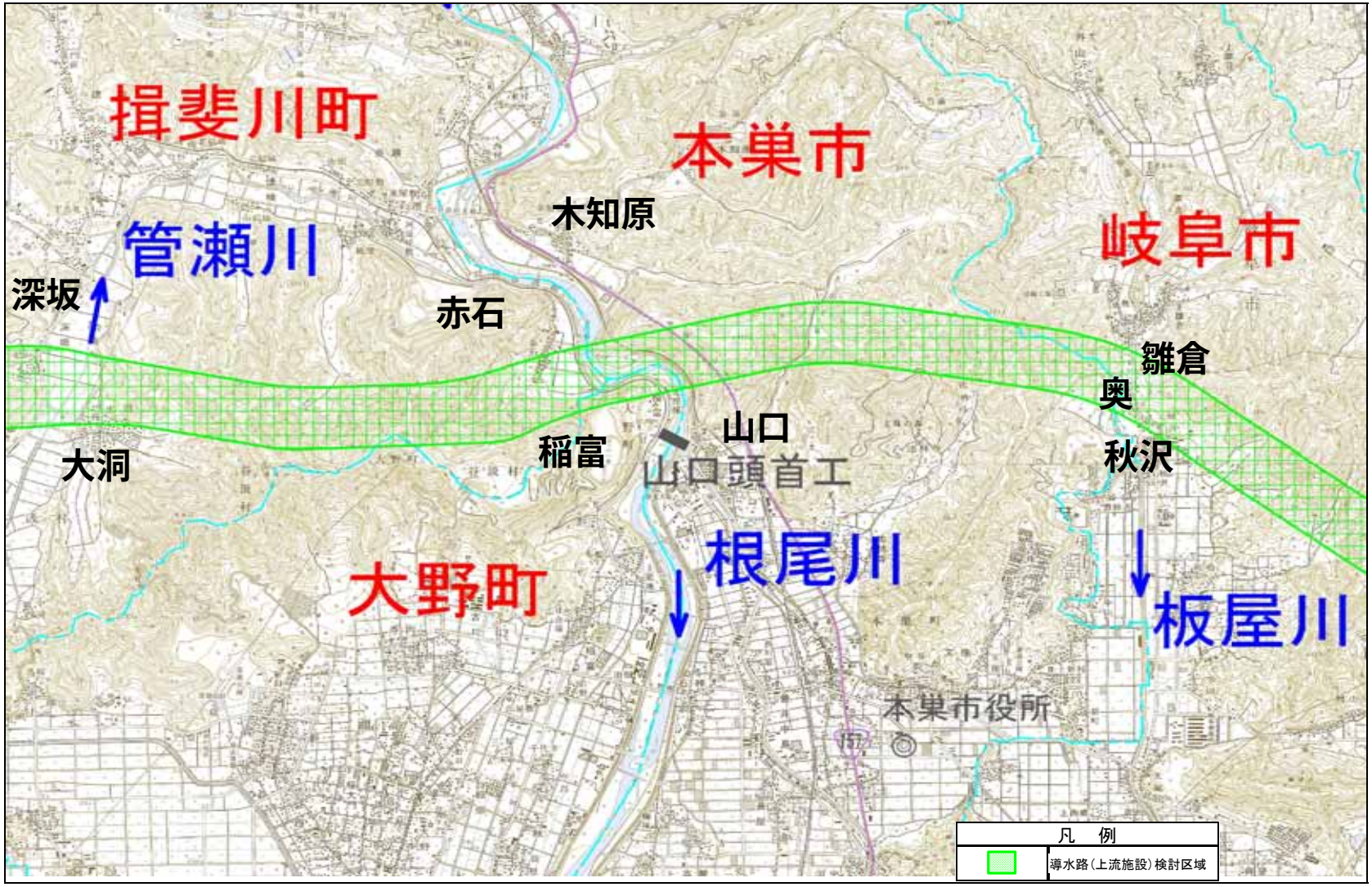


図 2-6　導水路(上流施設)検討区域(2/5)(大野町、本巣市周辺)

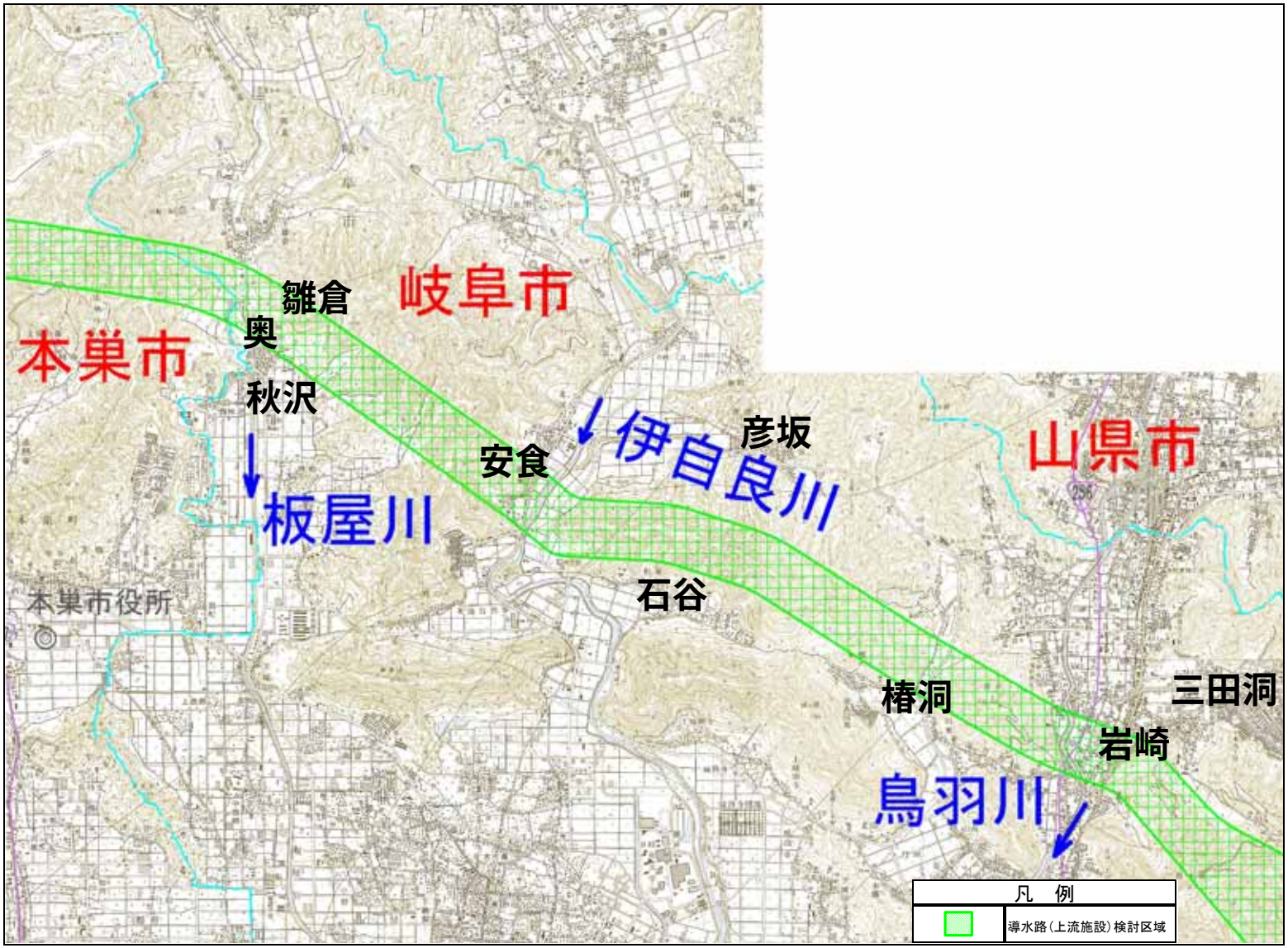


図 2-6　導水路(上流施設)検討区域(3/5)(岐阜市周辺 1)

図 2-6　導水路(上流施設)検討区域(4/5)(岐阜市周辺 2)

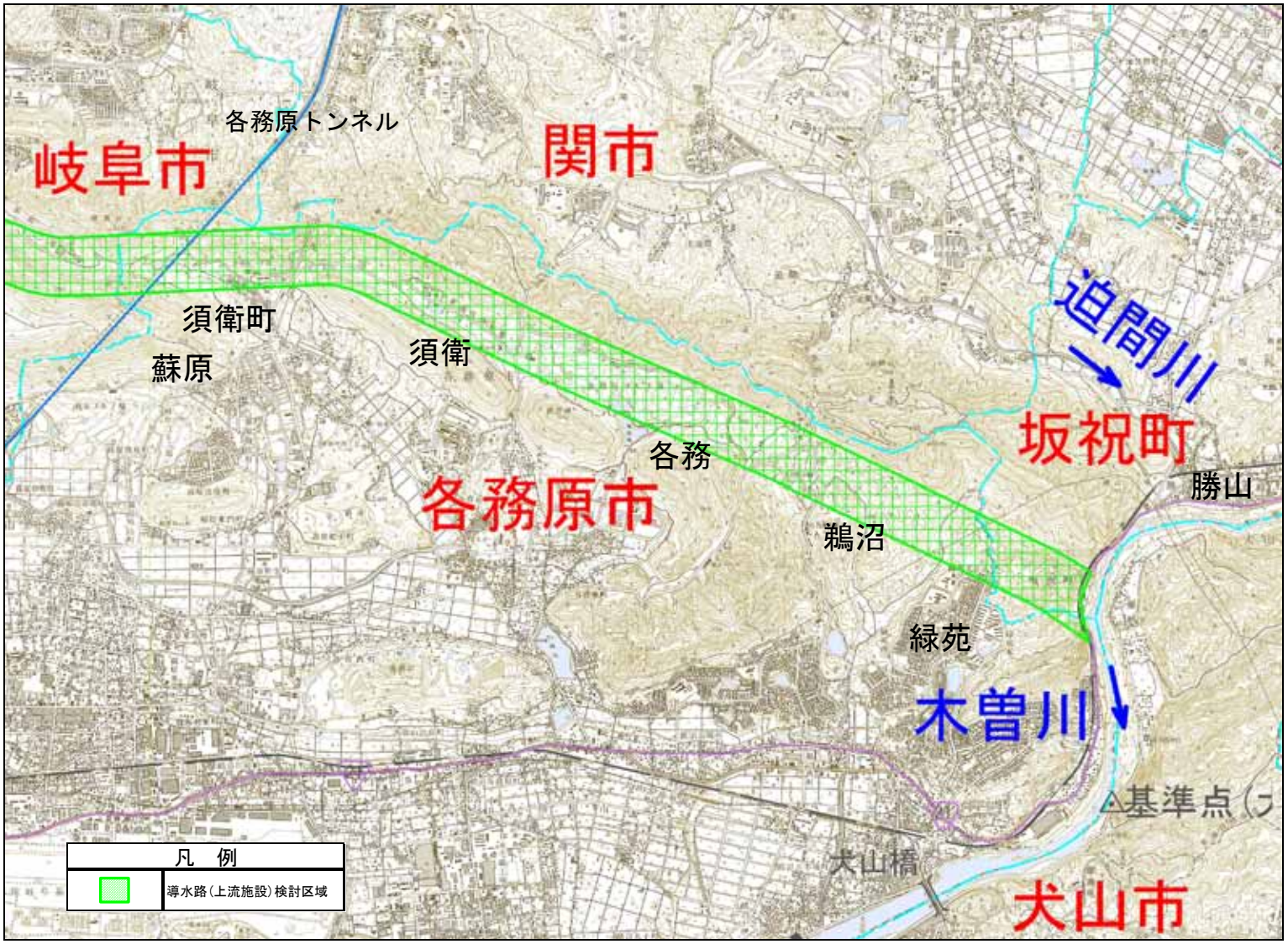


図2-6　導水路(上流施設)検討区域(5/5)(各務原市、坂祝町周辺)

図2-7　導水路(下流施設)検討地域